



日共産党を伸ばしてこそ!

参院選告示まで1カ月と迫った21日、北見市芸文ホールで共産党演説会が開かれました。会場いっぱいには各地から参加した人たちは、弁士の話に納



紙 智子参議員 5年ぶり

得の拍手を送っていました。北見は5年ぶりですと切り出した紙参議員は「全国注目の衆議院5区補欠選挙で、野党と市民が共闘してたたかえば政治を変えられることが出来ることを証明しました。安倍首相自ら農協幹部に『宜しく』と電話をする、ここまで追いつめられていたんです。北海道選挙区

では森さん、そして比例は共産党を伸ばしてこそ政治は変えられます」と支持を呼びかけました。森党道国政相談室長は改選数3を必ず勝ち抜く決意を述べ、菅原誠12区国会事務所長も訴えました。網走から参加した女性は、「感動して涙が出そうでした」と話し、奮闘を誓っていました。

松浦議員の

行政視察報告1

市議会・総務経済委員会
の行政視察が5月16日から19日まで行われました。初日の16日は、香川県さぬき市で結婚定住奨励事業についての説明を受けました。事業の目的は、若い世代の定住を促進し、活気に満ちたまちづくりをすすめるため、一定の要件を満たす夫婦に対して、さぬき市共通商品券10万円を交付する。【交付要件】①婚姻日現在の年齢が夫婦いずれか40歳未満であること②婚姻届提出後、6か月以内にさぬき

市に住民登録していること③住民登録後1年を超えて市内に居住し、今後も定住の意思を有すること④過去に夫婦ともにこの要綱による商品券の交付を受けていないこと⑤市税及び国保料の滞納がないこと」となっています。この事業は、平成24年度に実施した若手職員による人口減少対策に関する政策課題研究が行われること③若年層の社会的減少対策」をテーマとし、居住し、今後も定住の意思を有すること④過去に夫婦ともにこの要綱による商品券の交付を受けていないこと⑤市税及び国保料の滞納がないこと」となっています。この事業は、平成24年度に実施した若手職員による人口減少対策に関する



松浦奮戦メモ

成果として平成26年度が52組、同27年度が76組と制度周知が進むにつれて交付件数が順調に増えているそうです。なかなかユニークな取り組みで、商品券を交付することで地元経済に波及する内容となっています。

松浦カップが5月22日に呼人パークゴルフ場で行われました。恒例となっている行事ですが19名の参加で、天気にも恵まれ清々しいなかでのプレーとなりました。私は、昨年来の安倍暴走政治の「戦争法」の闘いがあった、昨年1年間で3回しかパークゴルフをしていません。今年も今回が初めてで感覚を取り戻す頃には終了し、115打(15位)という残念な結果でした。優勝は80歳を超えるMさんで、参加者の中で、最高齢でありながら70歳代、50歳代の若手を相手に余裕の優勝でした。やはり不断の努力が成績に現れるのですね。しかし、7月には参議院選挙(ひよつとすると衆議院の解散でダブル選挙)があるので、今年もできないことが予想されますが、国政選挙で躍進することが最優先なので頑張ります。

流氷

響きあう野党共闘と共産党の躍進
参議院選挙まで一カ月を切りました。全国32の一人区すべてで野党統一候補が誕生しようとしています。

この間、東北各地で統一候補と訴えています。私が初めて立候補したのは2010年の参議院福島選挙区。その時ライバルだった民進党の現職が統一候補に。まさかこんな日が来るとは思ってもいませんでした。宮城県演説会では、「比例は共産党」とまで言ってくれ、秋田県では20人程の「つどい」に一緒に参加。山形県の街頭演説では野党統一候補が、「間違った政治にブレーキをかけよう」と訴え、小池晃書記局長の話に何度も「そうだ!」と声をあげました。心が通い合い、響きあう共闘になっていると感じています。

同時に、日本共産党への期待も寄せられています。宮城県の演説会で訴えてくれた元町村会会長の鹿野文永さんは、上智大学の中野晃一さんが共産党を暖かい敷布団だと言ったことに触れながら、「自分が9条を守る運動を始めると、陰に陽に力添えしてくれました。私を鍛えてくれた敷布団でもありました」と語り、国民連合政府の提案に感動したとも話してくれました。

参議院選は野党共闘の成功、日本共産党の躍進で国民連合政府を実現する選挙です。道選挙区の森つねと候補との道内キャラバンも2巡をやりぬき、いよいよ本番目前です。次にお会いできるのは志位委員長を迎える札幌での6月5日の演説会。最後まで頑張ります。

日本共産党福島県委員会常任委員

(参議院比例予定候補)

いわぶち友